

ディーラーマニュアル

ロード	MTB	トレッキング
シティツーリング/ コンフォートバイク	アーバンスポーツ	E-BIKE

シフティングレバー

SORA

ST-R3000
ST-R3030
SL-R3000
SL-R3030

CLARIS

ST-R2000
ST-R2030
SL-R2000
SL-R2030

Non-Series

ST-RS200
ST-RS203

目次

重要なお知らせ	4
安全のために.....	5
シフティングレバー（デュアルコントロールレバー）	8
使用工具一覧.....	10
取付け	12
ハンドルバーへの取付け	12
ブレーキケーブルの取付け.....	13
シフティングケーブルの取付け	14
調整.....	19
握り幅調整.....	19
メンテナンス.....	21
ブラケット体とレバー体の分解	21
ブラケット体とレバー体の組立て	22
ブラケットカバーの交換	23
ネームプレートの交換.....	23
メインレバーサポートの交換.....	24
SLケーブルガイドの交換.....	26
ケーブルカバーの交換方法.....	27
切れたインナーエンドの取出し方法 (シフティングケーブル)	28

シフティングレバー (RAPIDFIRE Plus)

29

使用工具一覧.....	31
取付け	33
ハンドルバーへの取付け	33
メンテナンス.....	35
インナーケーブルの交換	35
インジケーターユニットの交換と組替え	36
カバーの交換.....	39

シフティングレバー

40

使用工具一覧.....	42
取付け	44
ハンドルバーへの取付け	44
ブレーキケーブルの取り付け.....	44
調整.....	46
握り幅調整.....	46
メンテナンス.....	48
インナーケーブルの交換	48

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けしないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全ての取扱説明書・ディーラーマニュアルはウェブサイト (<http://si.shimano.com>) でご覧いただけます。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

警告


「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書などに示している指示を守ってください。
その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトやナットなどが緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
また、調整が正しくない場合、不具合が発生し、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、安全メガネまたはゴーグルを着用し、眼を保護してください。
- ディーラーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキ系統の適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。ブレーキ系統の操作が適切でないと自転車のコントロールを失い、転倒して大けがをする可能性があります。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- 前ブレーキを強くかけると前輪がロックし、自転車が前方向に転倒して重傷を負う可能性があります。
- 乗車前には必ず前後のブレーキが正しく作動するかどうか確認してください。
- 雨天時は制動距離が長くなります。スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- 路面がぬれていると、タイヤがスリップし易くなります。タイヤがスリップすると転倒して危険ですので、スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- レバーの加工はカーボンの特性上厳禁です。レバーが折れてブレーキ操作ができなくなります。
- 乗車前にカーボンの剥離やクラックなどのダメージがないか確認してください。ダメージがあれば使用しないで販売店または代理店へご相談ください。レバーが折れてブレーキ操作ができなくなります。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- カーボン製レバーはやわらかい布を使って必ず中性洗剤で洗ってください。さもないと素材にダメージを与えて強度が落ちる可能性があります。
- カーボン製レバーを高温な場所に放置したままにすることは避けてください。また火に近づけないでください。
- 変速操作時には必ずクランクを回しながら操作を行ってください。
- シフティングレバー操作時には必ずクランクを回しながら操作を行ってください。
- 変速操作がスムーズにできなくなった場合には変速機を洗浄し、可動部に注油してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

自転車への組付け、整備に関する事項

- インナーケーブル内蔵式フレームでは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいいため、ご使用できません。
- アウターケーシングはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時にシフティングレバーがフレームに接触しないことをあわせて確認してください。
- 円滑な操作のため、OT-SP41ケーブル、ケーブルガイド (SM-SP17/SP18) をご使用ください。

- インナーケーブルとアウターケーシングの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。もしインナーケーブルのグリスを拭き取ってしまった場合は、SIS-SP41グリス (Y04180000) の塗布を推奨します。また、インナーケーブルに砂や泥などの異物を付着させないでください。
- 変速ケーブルには専用グリスを使用しています。プレミアムグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- 変速調整が出来ない場合には、車体の後ろ側にあるフォークエンドの平行度を確認します。ケーブルの洗浄およびグリスアップとアウターケーシングが長すぎたり短かすぎたりしていないかを確認してください。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

トルク値換算表

N・mをkgf・cmに換算する際は、以下の表を参照してください。







N・m	kgf・cm	N・m	kgf・cm	N・m	kgf・cm	N・m	kgf・cm
0.1	1	20	200	50	500	80	800
0.2	2	21	210	51	510	81	810
0.3	3	22	220	52	520	82	820
0.4	4	23	230	53	530	83	830
0.5	5	24	240	54	540	84	840
0.6	6	25	250	55	550	85	850
0.7	7	26	260	56	560	86	860
0.8	8	27	270	57	570	87	870
0.9	9	28	280	58	580	88	880
1	10	29	290	59	590	89	890
2	20	30	300	60	600	90	900
3	30	31	310	61	610	91	910
4	40	32	320	62	620	92	920
5	50	33	330	63	630	93	930
6	60	34	340	64	640	94	940
7	70	35	350	65	650	95	950
8	80	36	360	66	660	96	960
9	90	37	370	67	670	97	970
10	100	38	380	68	680	98	980
11	110	39	390	69	690	99	990
12	120	40	400	70	700	100	1,000
13	130	41	410	71	710		
14	140	42	420	72	720		
15	150	43	430	73	730		
16	160	44	440	74	740		
17	170	45	450	75	750		
18	180	46	460	76	760		
19	190	47	470	77	770		
		48	480	78	780		
		49	490	79	790		

シフティングレバー (デュアルコントロールレバー)

使用工具一覽

使用工具一覧

製品の取付け、調整、メンテナンスには下記の工具が必要です。

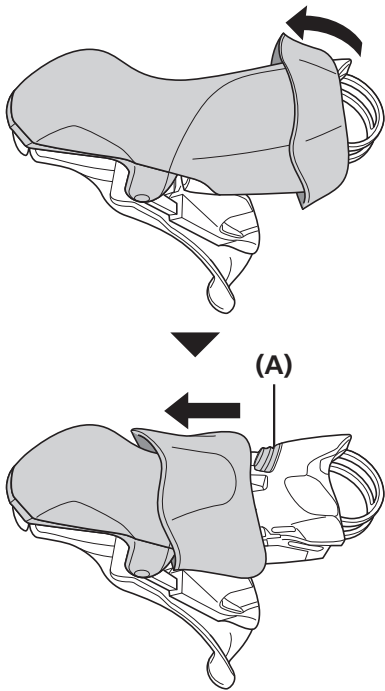
工 具		工 具		工 具	
	2mm六角レンチ		プラスドライバー#1		TL-CT12 ケーブルカッター
	5mm六角レンチ		プラスチックハンマー		Eリング取外しシマノ専用工具 (Y6RT66000/Y6RT68000)

取付け

取付け

■ ハンドルバーへの取付け

1



ブラケットカバーを後ろ側からめくります。

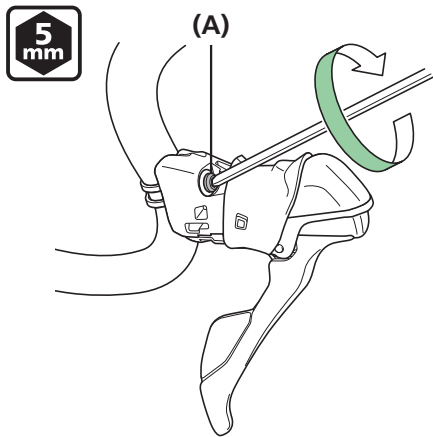
ブラケットカバーの端を両手で少しめくり返し、そのまま少しずつゆっくりと押し下げてください。

(A) クランプボルト

注意

材質の特性により、無理に引っ張るとカバーに亀裂が入る可能性があります。

2



ブラケット部上側のクランプボルトを5mm六角レンチで締付けます。

(A) クランプボルト

締付けトルク



6 - 8 N·m

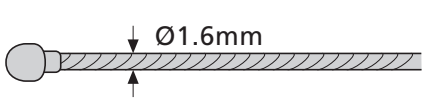
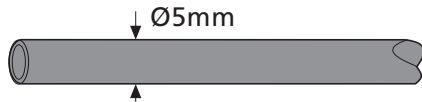
■ ブレーキケーブルの取付け

BC-9000/BC-R680のインナーケーブルがシフティングレバーやキャリパーブレーキの金属部(アジャスト部分)などに触れないようにしてください。インナーケーブル組付け時に被覆が傷つくと毛羽立つ可能性がありますますが機能に影響はありません。

注意

ケーブルは、ハンドルを一杯に操舵しても余裕のある長さで使用してください。

使用ケーブル

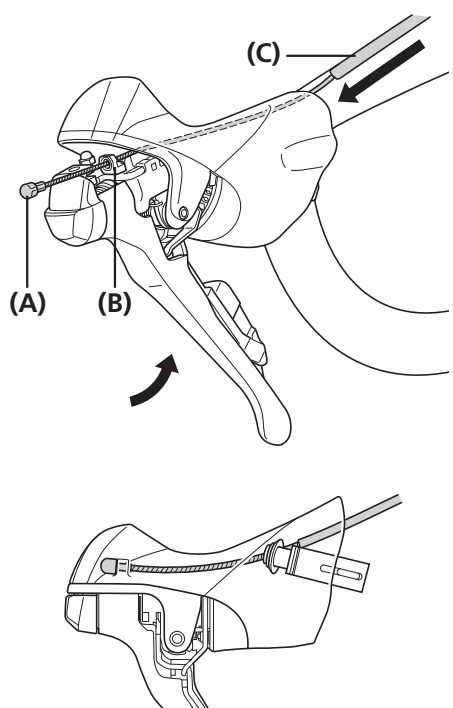
インナーケーブル	アウターケーシング
 <p>Ø1.6mm</p>	 <p>Ø5mm</p>



TECH TIPS

ブレーキケーブルの取付け方法はブレーキのディーラーマニュアルを参照してください。

1

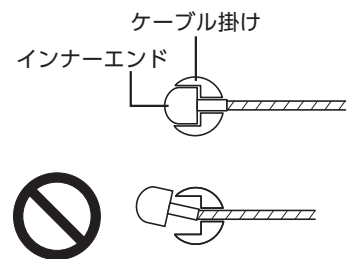


ブレーキ操作方向にレバーをストロークさせ、ブレーキケーブルを通します。

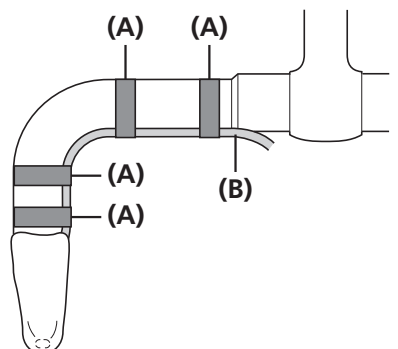
(A) インナーエンド
(B) ケーブル掛け
(C) アウターケーシング

注意

インナーエンドがケーブル掛けにきちんとセットされていることを確認してください。



2



アウターケーシングを、テープなどでハンドルバーに仮止めをします。

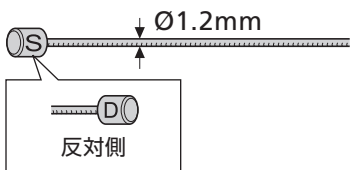
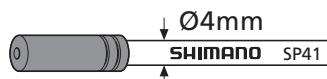
(A) テープ
(B) アウターケーシング

取付け

シフティングケーブルの取付け

■ シフティングケーブルの取付け

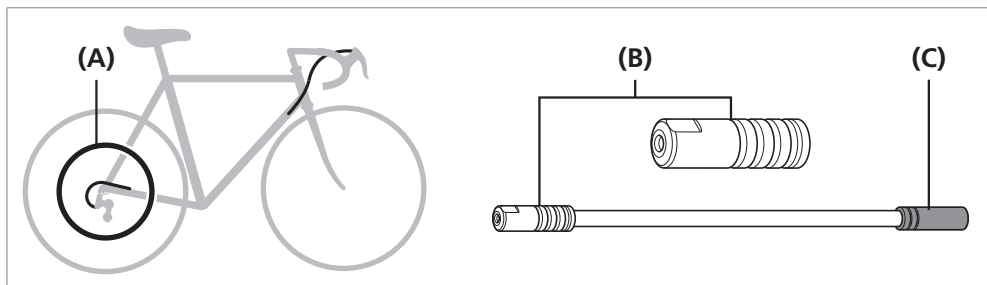
使用ケーブル

専用インナーケーブル	推奨アウターケーシング
 <p>専用インナーケーブル</p> <p>↓ Ø1.2mm</p> <p>反対側</p>	<p>ノーマルアウターキャップ/ SP41アウターケーシング</p>  <p>↓ Ø4mm</p> <p>SHIMANO SP41</p>

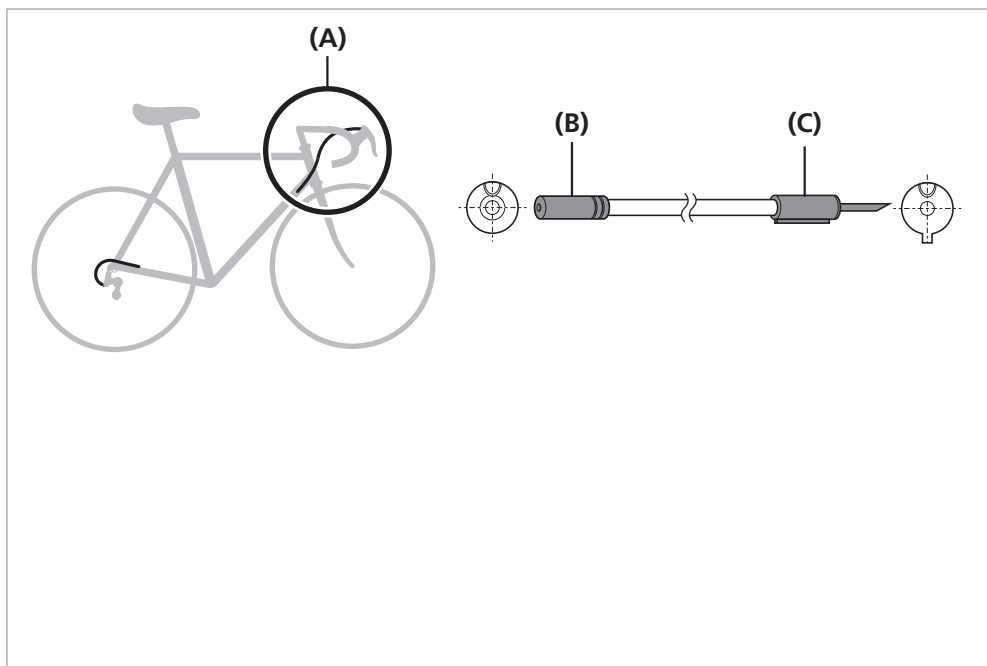
注意

インナーケーブルにはゴミなどを付着させないこと。インナーケーブルのグリスを拭き取ってしまった場合は、SIS SP41グリス (Y04180000) の塗布を推奨します。

アウターキャップ取付位置



- (A) 変速機側
- (B) シールドアウターキャップ (樹脂タイプ)
- (C) ノーマルアウターキャップ

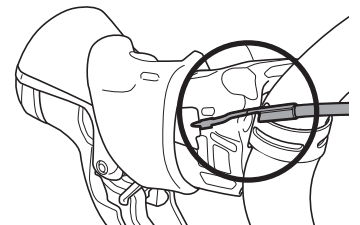


- (A) シフティングレバー側
- (B) ノーマルアウターキャップ
- (C) ショートノーズ付アウターキャップ



TECH TIPS

キャップの凸形状をブラケットの溝にはめてください。



アウターケーシングの切断

注意

- ケーブルはハンドルをいっぱいにも操舵しても余裕のある長さでご使用ください。
- TL-CT12ニードルの部分で手を傷つけないようにしてください。

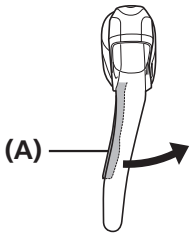
1		<p>ケーブルカッター (TL-CT12) などを使用し、刻印の反対側を切断してください。</p>	<p>(A) アウターキャップ (B) TL-CT12</p>
2		<p>切断後、ライナーの先端 (Ø2.2以上) を TL-CT12 など、細いもので広げてください。</p> <p>(y) アウターキャップを抜き取る (z) 切断面を真円に整える</p>	<p>(A) TL-CT12ニードル (B) TL-CT12</p>
3		<p>アウターケーシングをアウターキャップの座面と密着するまで挿入してください。</p> <p>(z) アウターキャップを取付ける</p>	<p>(A) アウターキャップ (B) 先端部分 (C) アウターケーシング</p>

注意

アウターケーシング挿入時に、先端部分の凸部が潰れないよう注意してください。

シフティングインナーケーブルの通し方

1



(A)

レバー[B]を操作して、レバー位置をトップにセットしてからケーブルを取付け、調整を行います。

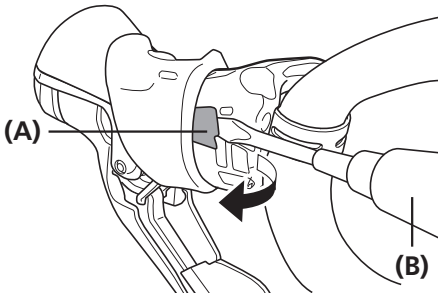
(A) レバー[B]



TECH TIPS

イラストはリア側レバーで説明していません。

2



(A)

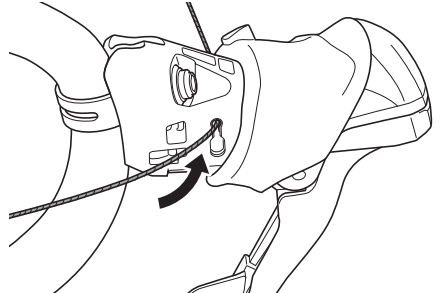
(B)

マイナスドライバー（先端が平らなもの）でケーブルカバーを外します。

(A) ケーブルカバー

(B) マイナスドライバー

3

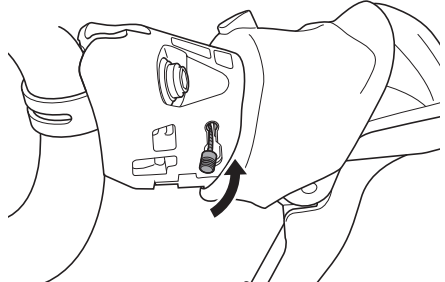


図のようにインナーケーブルを通します。

注意

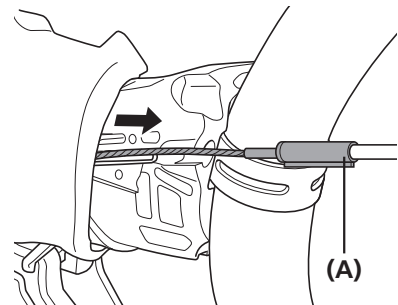
インナーケーブルのコーティングがダメージを受けないように注意して挿入してください。

4



インナーエンドをユニットに収まるように挿入します。

5

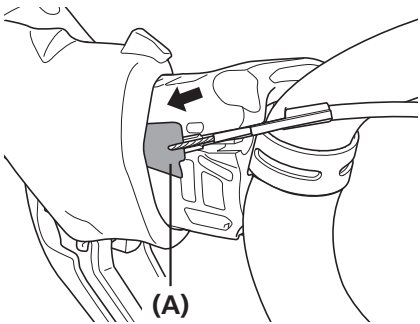


(A)

図のようにインナーケーブルを通します。

(A) ショートノーズ付アウターキャップ

6



最後にケーブルカバーを取付けます。

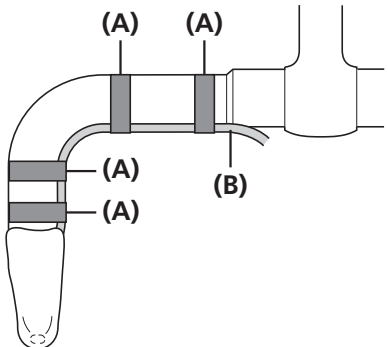
(A) ケーブルカバー



TECH TIPS

インナーケーブル組付け時に被覆が傷つくと毛羽立つ可能性があります。機能が影響はありません。

7



アウターケーシングを、テープなどでハンドルバーに仮止めをします。

(A) テープ

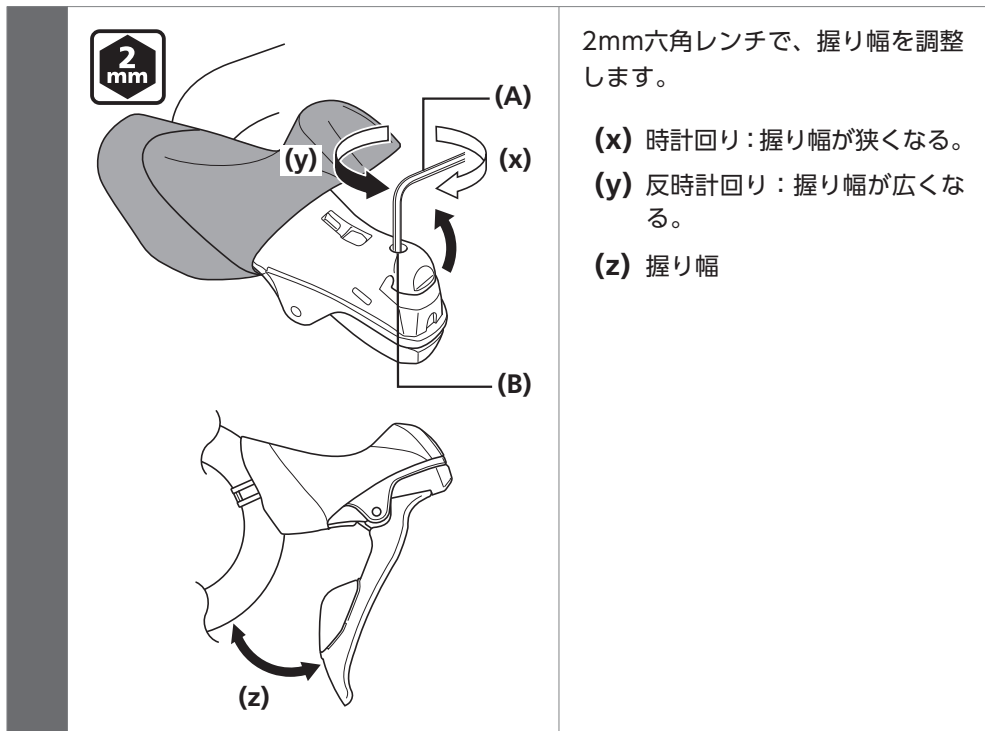
(B) アウターケーシング

8 続いて、バーテープをハンドルバーに巻付けます。

調整

調整

■ 握り幅調整



2mm六角レンチで、握り幅を調整します。

- (x) 時計回り：握り幅が狭くなる。
- (y) 反時計回り：握り幅が広がる。
- (z) 握り幅

(A) 2mm六角レンチ

(B) リーチアジャストボルト

注意

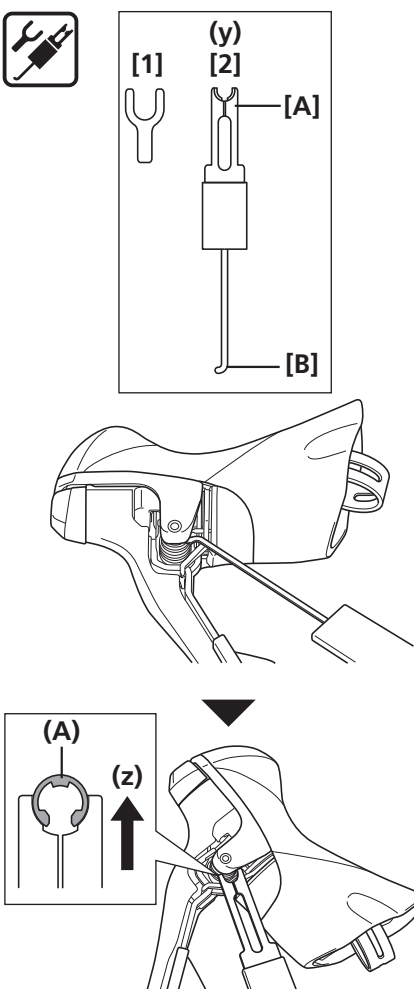
調整後は確実にブレーキが操作できることを確認してください。

メンテナンス

メンテナンス

■ ブラケット体とレバー体の分解

1



最初に、シマノ専用工具（別売り）を使用してEリングを取外します。

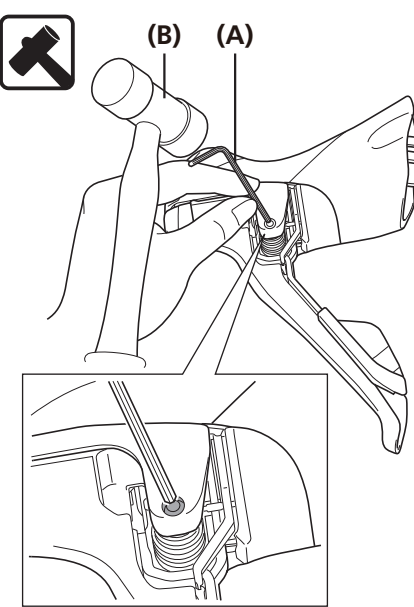
Eリング取外しシマノ専用工具[2]の[B]部分を使用してEリングを取外しの向きに合わせます。

次に[A]部をEリングにセットし、取外します。

(y) Eリング取外しシマノ専用工具：
 [1] Y6RT66000
 [2] Y6RT68000

(z) Eリング取外し方向

2



六角レンチなどを使用してレバー軸の穴に差し込み、プラスチックハンマーで少しずつ叩きレバー軸を抜き出すと、ブラケット体とレバー体に分解できます。

(A) Eリング

⚠ 注意

Eリングを外す時、Eリングが勢いよく飛び出すことがありますので、保護めがねを着用してください。また周りに人や物がいないことを確認して作業をしてください。

📖 TECH TIPS

図は右レバーです。

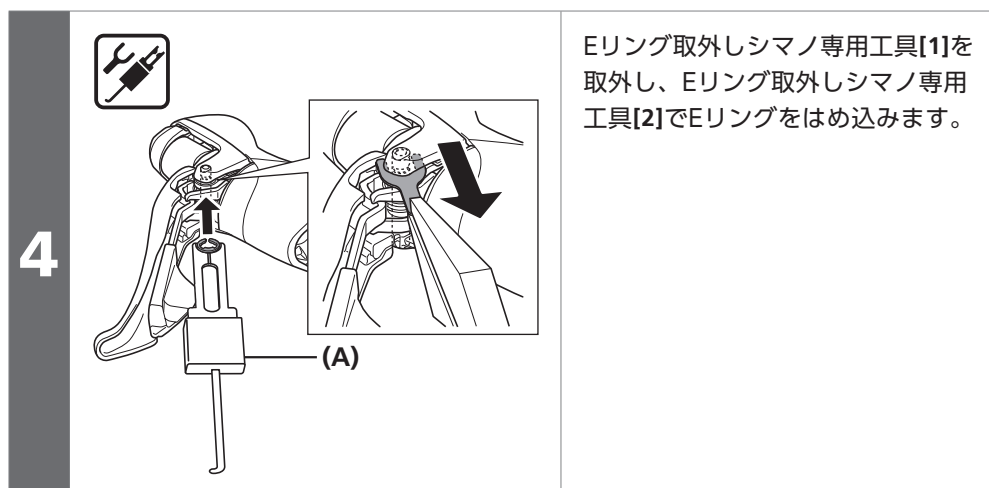
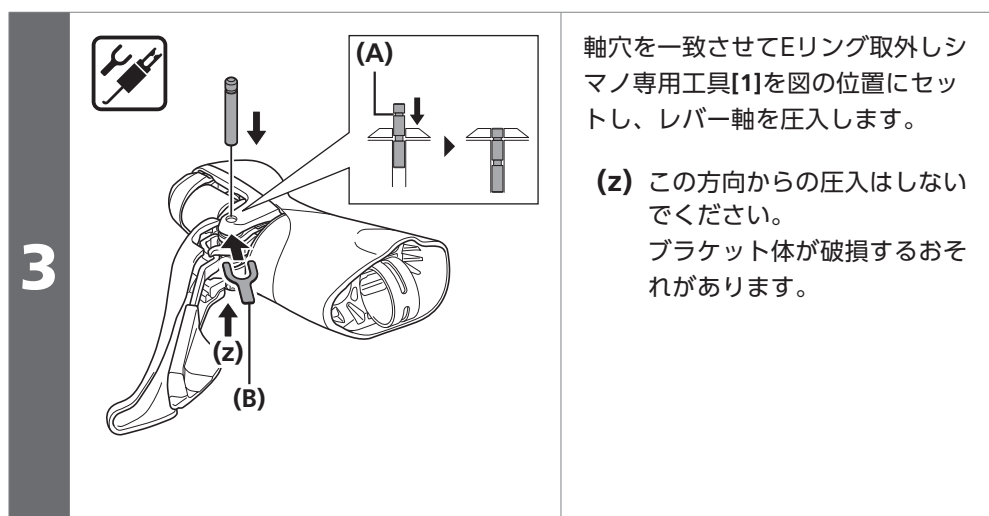
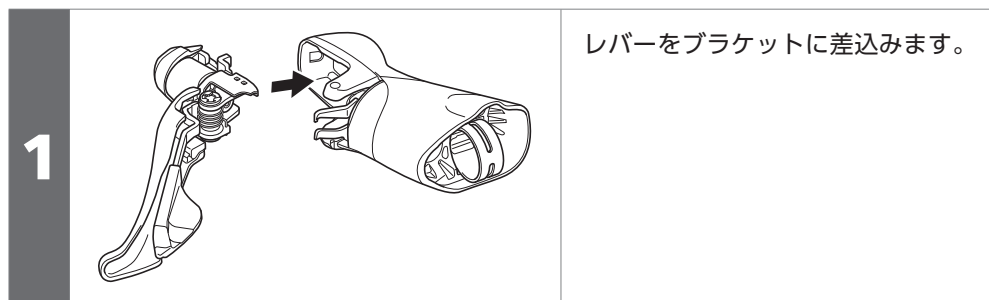
(A) 六角レンチ

(B) プラスチックハンマー

注意

この方向から必ずレバー軸を抜いてください。反対側から抜くとブラケット体が破損するおそれがあります。

■ ブラケット体とレバー体の組立て



(A) リターン Springs

(A) Eリング溝

(B) Eリング取外しシマノ専用工具[1]



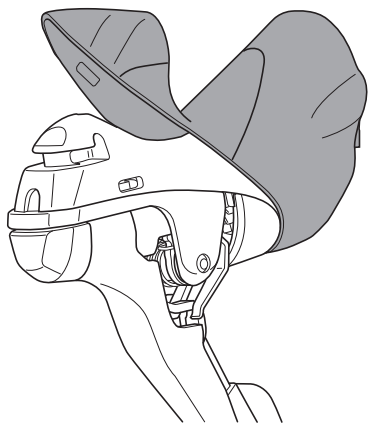
- レバー軸のEリング溝が上側になるのが正しい向きです。
- Eリングが溝に入るようにするため、ブラケット体の表面とレバー軸のトップ面がフラットになっていることを確認してください。

(A) Eリング取外しシマノ専用工具[2]

注意

取外したEリングは再度使用しないでください。
新品をご使用ください。

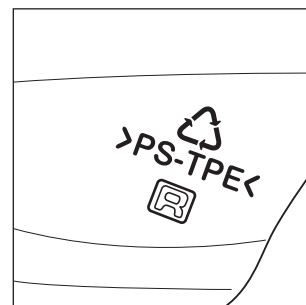
■ ブラケットカバーの交換



ブラケットカバーの突起部をブラケット体のくぼみに合わせて取付けてください。

注意

- 刻印はブラケットカバーの内側にあります。
R: 右用
L: 左用

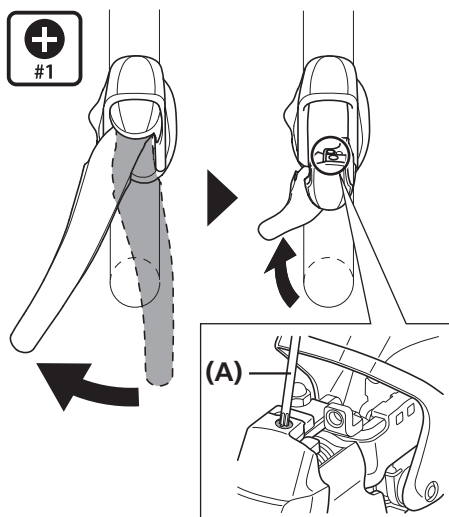


- ブラケットカバーの交換は必ず図のようにレバーを自転車から外した状態で実施してください。



アルコールをブラケットカバー内側にめると取付けやすくなります。

■ ネームプレートの交換



シフト操作をしながらブレーキ操作をすると、ネジが露出します。

ネジを外して交換してください。

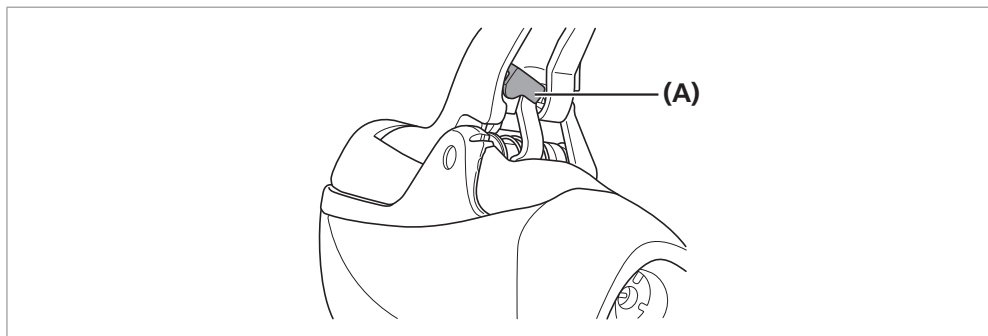
(A) プラスドライバー#1

締付けトルク

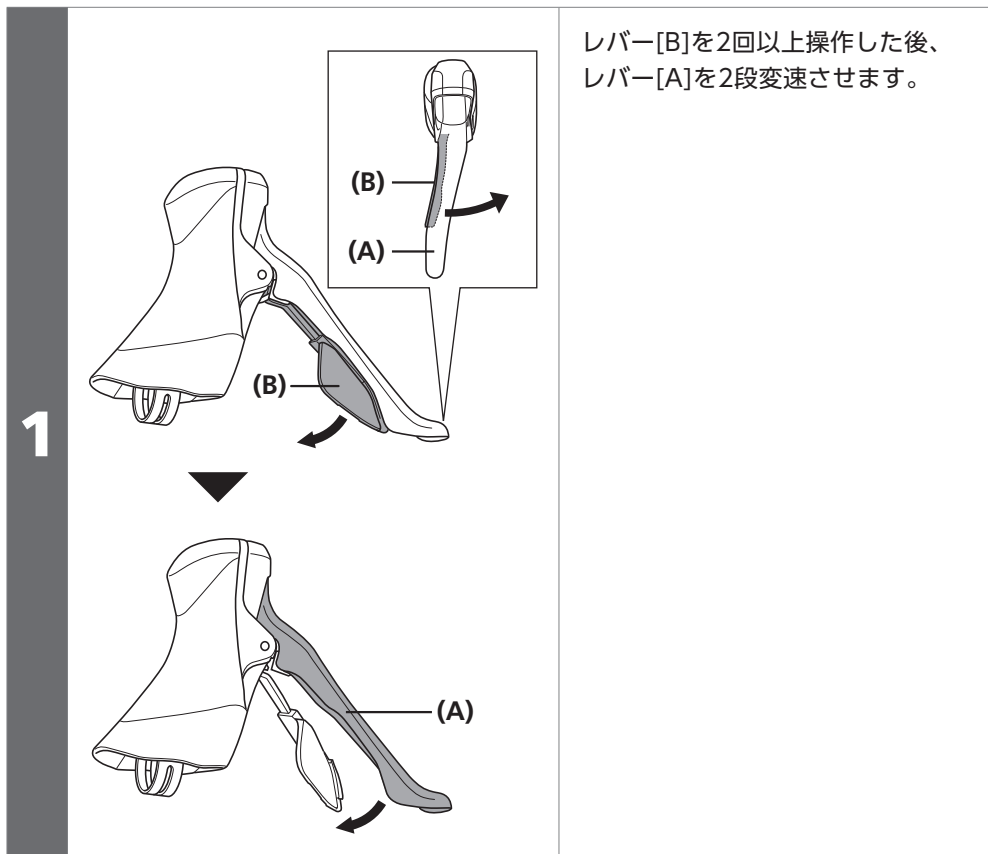


0.15 - 0.2 N·m

■ メインレバーサポートの交換



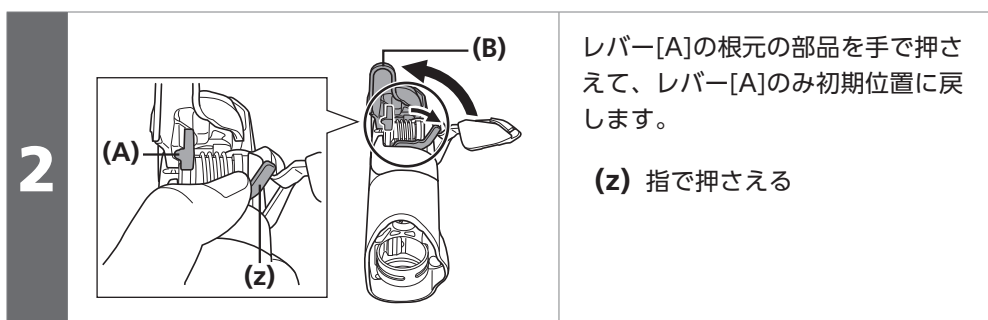
(A) メインレバーサポート



レバー[B]を2回以上操作した後、
レバー[A]を2段変速させます。

(A) レバー[A]

(B) レバー[B]



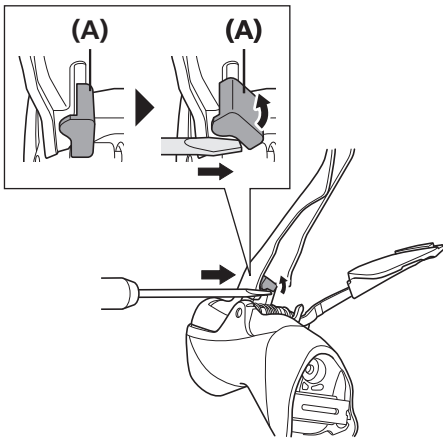
レバー[A]の根元の部品を手で押さ
えて、レバー[A]のみ初期位置に戻
します。

(z) 指で押さえる

(A) メインレバーサポート

(B) レバー[A]

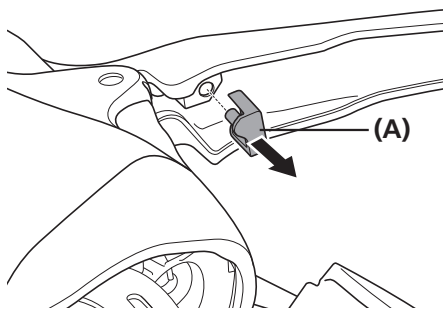
3



メインレバーサポートを矢印方向にマイナスドライバーなどで回転させ、ストッパーを外します。

(A) メインレバーサポート

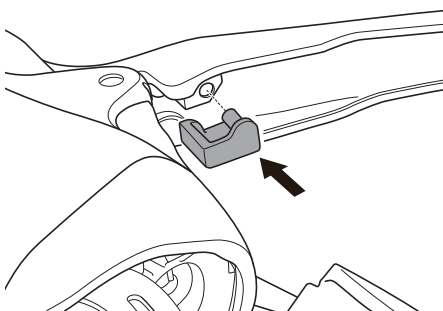
4



メインレバーサポートを引っ張り出します。

(A) メインレバーサポート

5

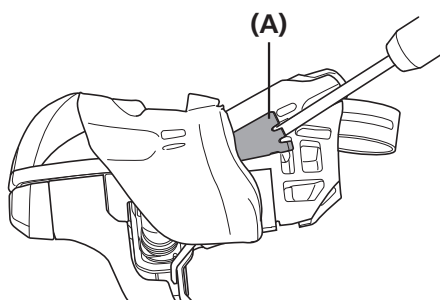


新しいメインレバーサポートをはめ込みます。

■ SLケーブルガイドの交換

1 レバーをハンドルから外し、ブラケットカバーを外します。

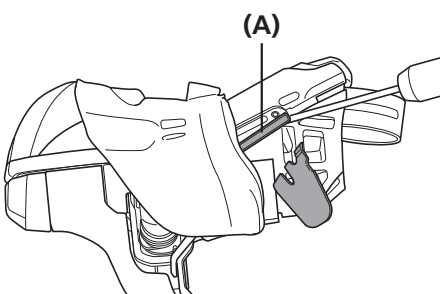
2



ケーブルカバーを取外します。

(A) ケーブルカバー

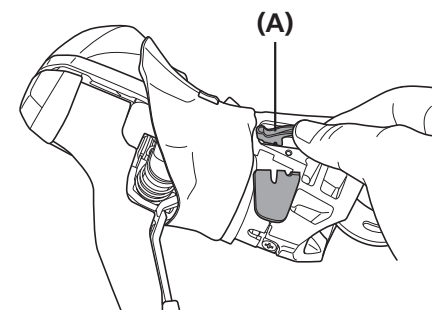
3



尖った工具を引っ掛けて、SLケーブルガイドを引っ張り出します。

(A) SLケーブルガイド

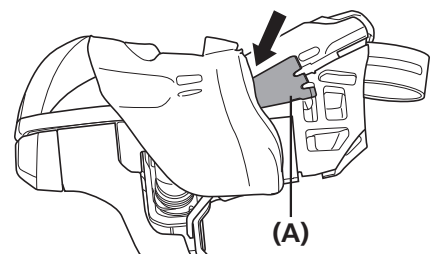
4



新しいSLケーブルガイドを手で押し込みます。

(A) SLケーブルガイド

5

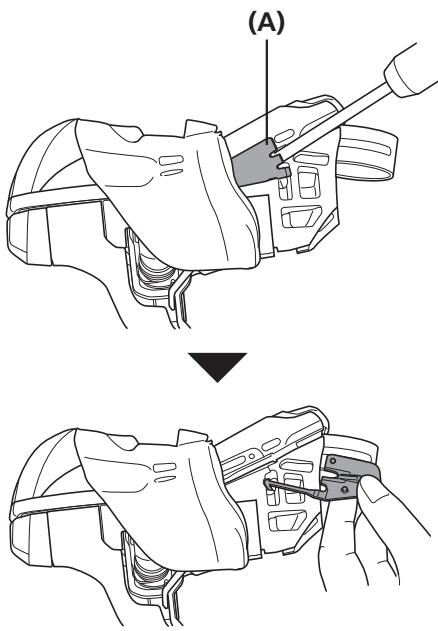


ケーブルカバーを取付けます。

(A) ケーブルカバー

■ ケーブルカバーの交換方法

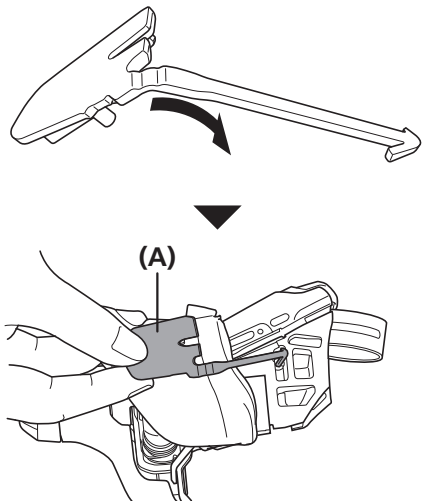
1



ドライバーなどでケーブルカバーをブラケットから取外し、手で引っ張ります。

(A) ケーブルカバー

2



新しいケーブルカバーを取付ける前に軽く折り目をつけ、ブラケットの穴に差込みます。

(A) ケーブルカバー

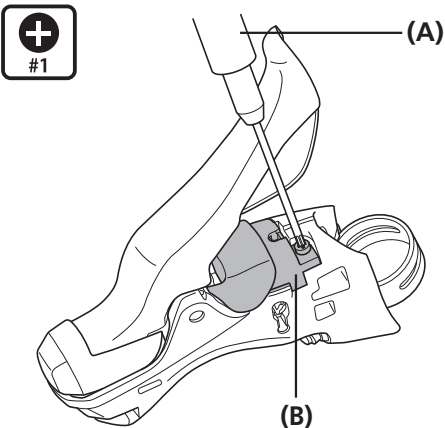
■ 切れたインナーエンドの取出し方法 (シフティングケーブル)

* インナーエンドの取出しが困難な場合は以下の手順で取出してください。

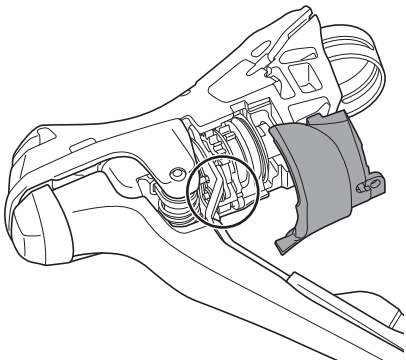
1 レバーをハンドルから外し、ブラケットカバーを外します。

TECH TIPS

スムーズなシフティングコンディションを維持する為に、インナーケーブルが切れた際は、ケーブルガイドとあわせて交換することをお勧めします。

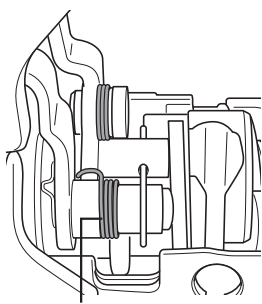
2  (A) ブラケット下側のネジを外し、ユニットカバーを取外します。

(A) プラスドライバー#1
(B) ユニットカバー

3  巻取体のケーブル掛け部に留まっているインナーエンドを取出します。

注意

この時に不用意にバネを触らないように注意してください。機能不具合を起す原因になります。



バネ

4 ユニットカバーを戻し、ねじを締付けます。

締付けトルク





 0.2 - 0.25 N·m

シフティングレバー (RAPIDFIRE Plus)

使用工具一覽

使用工具一覧

製品の取付け、調整、メンテナンスには下記の工具が必要です。

工 具		工 具	
	4mm六角レンチ		プラスドライバー#2
	プラスドライバー#1		プラスドライバー

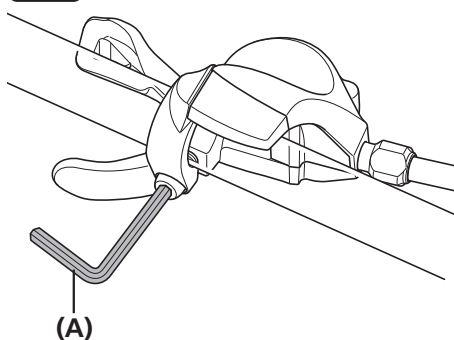
取付け

取付け

■ ハンドルバーへの取付け

注 意

- 推奨締付けトルクにおいても、カーボンフレーム (ハンドルバー) の場合には、フレーム (ハンドルバー) への損傷ならびに固定不十分となる可能性があります。適切なトルク値に関しては、完成車メーカーまたはフレーム (ハンドルバー) メーカーでご確認ください。
- ブレーキ操作と変速操作に支障をきたさない位置に取付けてください。ブレーキ操作に支障をきたす場合は組合わせ使用しないでください。



ハンドルグリップは最大外径が
 $\text{Ø}36\text{mm}$ 以下のものをご使用くだ
さい。

(A) 4mm六角レンチ

締付けトルク



3 - 5 N·m

メンテナンス

メンテナンス

■ インナーケーブルの交換

* 変速機への固定方法および調整方法は、基本作業書のSISの調整の項目を参照ください。

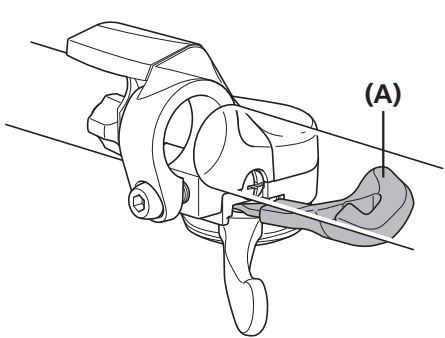
推奨インナーケーブル一覧

アウターケーシング	材質または表面処理
OT-SP41	OPTISLICK/オプティスリック

交換方法

* イラストはリア側レバーです。

1



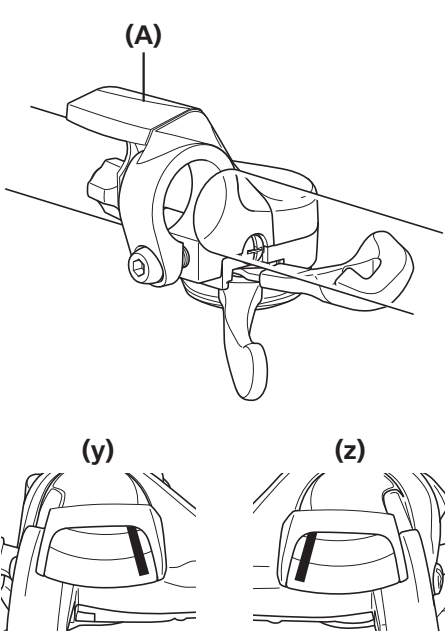
(A)

解除レバーを操作して最小チェーンリング/最小スプロケットにセットします。

(A) 解除レバー

仕様	解除レバー 操作回数
2段	1回以上
3段	2回以上
7段	6回以上
8段	7回以上
9段	8回以上
10段	9回以上

2



(A)

(y) (z)

インジケーターがある場合は、インジケーターの指針位置を確認します。

(y) フロント側：右端

(z) リア側：左端

(A) インジケーター

3

インナータイコ穴キャップを取外し、ケーブルを取付けます。

(z) プラスドライバー

(A) インナーケーブル
(B) インナータイコ穴キャップ

4

インナータイコ穴キャップを図のように止まるまで回して、取付けてください。

これ以上回すと、キャップのねじ溝を破損します。

(A) インナータイコ穴キャップ
(B) プラスドライバー

■ インジケータユニットの交換と組替え

注意

分解および組立は、インジケータユニットの取外しまたは交換時のみ行ってください。

分解方法

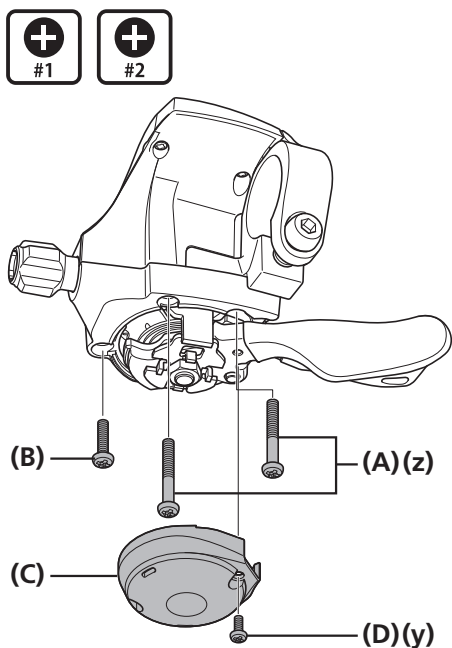
1

解除レバーを操作して最小チェーンリング/最小sprocketにセットします。

(A) 解除レバー

仕様	解除レバー操作回数
2段	1回以上
3段	2回以上
6段	5回以上
7段	6回以上
8段	7回以上
9段	8回以上

2



メインレバーカバーを取外した後、インジケーター固定ねじ3本を外します。

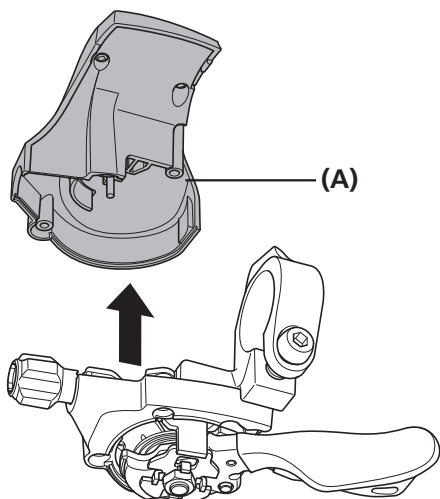
- (y) プラスドライバー#1
- (z) プラスドライバー#2

- (A) インジケーター固定ねじ(長)
- (B) インジケーター固定ねじ(短)
- (C) メインレバーカバー
- (D) カバー取付けねじ



モデルによって、インジケーターユニットの交換が出来ないものがあります。

3

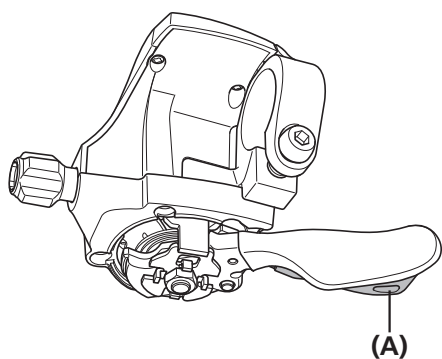


インジケーターユニットを取外します。

- (A) インジケーターユニット

組立方法

1



解除レバーを操作して最小チェーンリング/最小スプロケットにセットします。

(A) 解除レバー

仕様	解除レバー操作回数
2段	1回以上
3段	2回以上
6段	5回以上
7段	6回以上
8段	7回以上
9段	8回以上

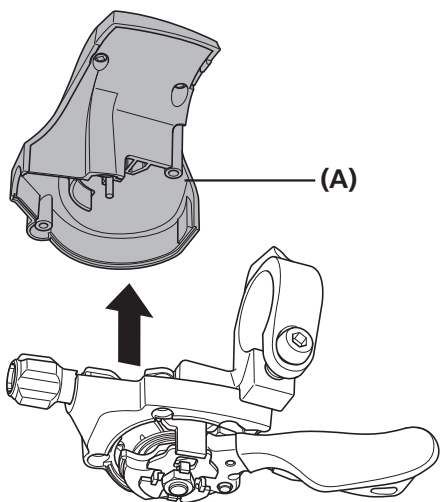
2



インジケーターの指針位置を確認します。

- (y) フロント側：右端
- (z) リア側：左端

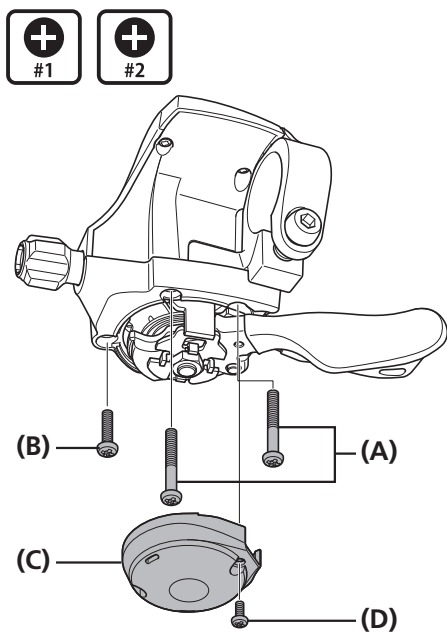
3



インジケーターユニットをセットします。

(A) インジケーターユニット

4



インジケーター固定ねじ3本を取付け、次にメインレバーカバーを取付けます。

- (A) インジケーター固定ねじ (長)
- (B) インジケーター固定ねじ (短)
- (C) メインレバーカバー
- (D) カバー取付けねじ

インジケーター固定ねじ (長)

締付けトルク	
	0.3 - 0.6 N·m

インジケーター固定ねじ (短)

締付けトルク	
	0.2 - 0.4 N·m

カバー取付けねじ

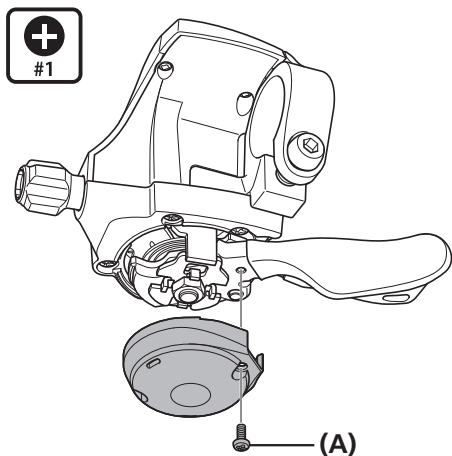
締付けトルク	
	0.1 - 0.3 N·m

5

動作を確認してください。

正しく動作しない場合は手順1、2、3、4に注意して再度組立ててください。

■ カバーの交換



図のようにねじを取外してカバーを交換してください。

- (A) カバー取付けねじ




締付けトルク	
	0.1 - 0.3 N·m

シフティングレバー

使用工具一覽

使用工具一覧

製品の取付け、調整、メンテナンスには下記の工具が必要です。

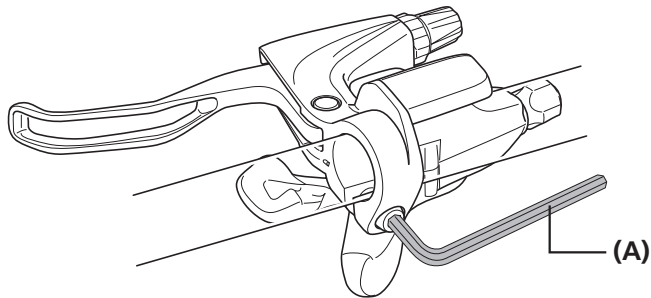
工 具		工 具	
	2mm六角レンチ		プラスドライバー#2
	4mm六角レンチ		

取付け

取付け

■ ハンドルバーへの取付け

ハンドルグリップは最大外径がφ32mm以下のものをご使用ください。



(A) 4mm六角レンチ

締付けトルク



6 - 8 N·m

■ ブレーキケーブルの取り付け

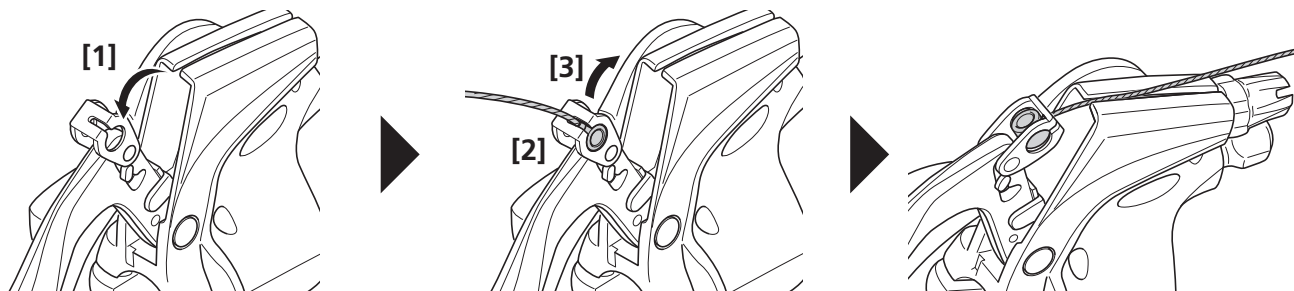
使用ケーブル

インナーケーブル	SLRアウターケーシング
<p>φ 1.6 mm</p>	<p>φ 5 mm SHIMANO SLR</p>

* ケーブルは、ハンドルを左右一杯に操舵しても余裕のある長さで使用してください。

* ブレーキケーブルの取付け方法はブレーキのディーラーマニュアルを参照してください。

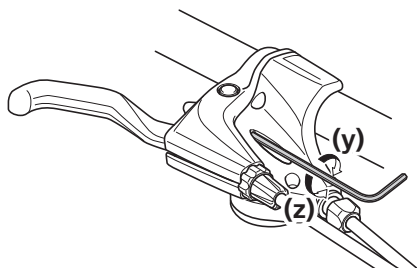
* 図のように取付けてください。



調整

調整

■ 握り幅調整



2mm六角レンチで、握り幅を調整します。

- (y) 時計回り：握り幅が狭くなる。
- (z) 反時計回り：握り幅が広くなる。

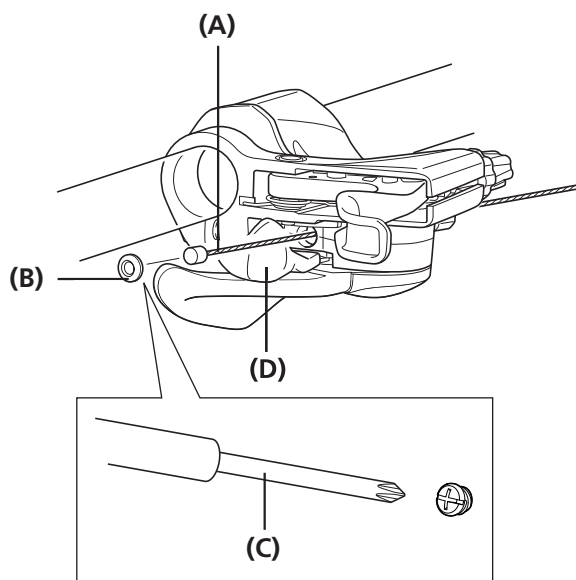
メンテナンス

メンテナンス

■ インナーケーブルの交換

レバー[B]を操作して最小チェーンリング／最小スプロケットにセットします。

インナータイコ穴キャップを取外し、新しいインナーケーブルを取付けます。



(A) インナーケーブル

(B) インナータイコ穴キャップ

(C) プラスドライバー#2

(D) レバー[B]



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577